

公益社団法人松阪青年会議所
2017年度 基本運動方針

指導力・経営開発委員会

委員長 中出 朋和

《委員会スローガン》

挑戦～己の成長の為に～

《基本運動方針》

戦後、日本は敗戦による混乱と経済不況の中にありました。そして、各地の青年経済人たちが、新しい日本の進路を求めている中、「明るい豊かな社会の創造」の実現を同じ理想とし青年会議所は創られました。戦後復興を成し遂げ豊かになった現在も、我々は志高き先輩諸兄の様に自らが立ち上がり行動し、挑戦する熱いおもいを受け継ぎ、まちや組織の先導者としてある事が使命なのです。

社会における先導者とは、決断し実行する事で組織をより良い方向に導く存在です。まちや組織の先頭に立ち、行動していく為にはまず、個々の先導者としての自己の成長が必要不可欠になってきます。自己の成長の為には、まず挑戦しなければ何も始まりません。先輩諸兄が「明るい豊かな社会の創造」を求め、挑戦し続けてこられたように、我々もこれから訪れる成長できる機会に対し、失敗を恐れず、果敢に挑戦し、まずは自己成長に繋げる必要があります。

本年度、指導力・経営開発委員会では「先導者としての責任を果たす為の指導力開発」「新しい事に挑戦し継続できる経営開発」の二つをテーマに事業を展開していきます。主に指導力開発では先導者としての責任とは何か追及し、どういった存在であるべきかを理解していただきます。そして経営開発では、未来を見据える力を身に付けて新たな事に挑戦できる事業を行います。

また全員で行う会員拡大や三重ブロック協議会事務局への支援も委員会一同が、一丸となって積極的に行っていく所存です。

最後になりますが指導力・経営開発委員会メンバー一人ひとりと力を合わせ精一杯運動に取り組んで参りますので、皆様のご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。